



宇久まちづくり新聞

UKU machidukuri NEWS

VOL.3

2026



話して、つながる。 「宇久島まちづくり連絡会議」スタート！

▶ 協議会の新たな取組として、地域の活動や課題を共有し、
つながりを広げる情報交換の場が始まりました。

昨年度策定した「宇久島未来まちづくりプラン」では、人口減少や高齢化が進む中でも、将来にわたって住み続けられる島を目指し、「まちづくり体制の再構築」を重点的な取組に位置付けました。これまで宇久島離島活性化協議会では、納涼花火大会や産業まつりを中心に活動してきましたが、「協議会の役割が分かりにくい」「活動が十分に伝わっていない」といった課題もありました。

そこで今年度から、新たな取組として「宇久島まちづくり連絡会議」をスタートしました。地域で行われている活動や困りごと、これから挑戦したいことなどを持ち寄り、お互いを知り、つながるための情報交換の場です。団体や分野の垣根を越えて顔の見える関係を築き、新たな協力や連携につなげることを目指しています。

第1回では、納涼花火大会をテーマに意見交換を行ったほか、地域活動の情報共有も行いました。「こんな活動もあるんだ」「一緒にできることがありそう」といった声も聞かれ、新たなつながりも生まれ始めています。

今後も定期的に開催し、住民や事業者、各団体など、誰もが気軽に参加できる場として育てていきます。「こんなことを話したい」「みんなに知ってほしい活動がある」など、テーマも随時募集しています。ぜひお気軽にご参加ください。

連絡会議ってこんな場！

誰でも参加可能！
毎月第1水曜日 19時～



地域の活動を知る

各団体や地域の活動、イベント等を紹介・共有しています。



人と人がつながる

「一緒にできそう！」を見つけ、連携や協力につなげます。



地域の困りごとを話し合う

身近な課題やアイデアを持ち寄り、みんなで考えます。

TOPICS

改めてご紹介！ 宇久島離島活性化協議会とは？

▶ みんなで考え、つながり、未来の宇久島をつくるための協議会。

宇久島離島活性化協議会は、住民や事業者、各種団体、行政などが連携し、宇久島の活性化に取り組む組織です。これまで「宇久島納涼花火大会」や「産業まつり」の開催をはじめ、「宇久島未来まちづくりプラン」の策定やボランティア、スゲ浜を活用したイベントなど、地域の魅力を活かした様々な活動に取り組んできました。

一方で、島内には多くの団体や個人が地域のために活動しているものの、お互いの活動を知り、連携する機会は十分とは言えませんでした。

そこで協議会では、イベントの開催だけでなく、人と人、団体と団体をつなぐ「まちづくりのネットワーク」としての役割を強化しています。今年度からスタートした「宇久島まちづくり連絡会議」も、その取組の一つです。

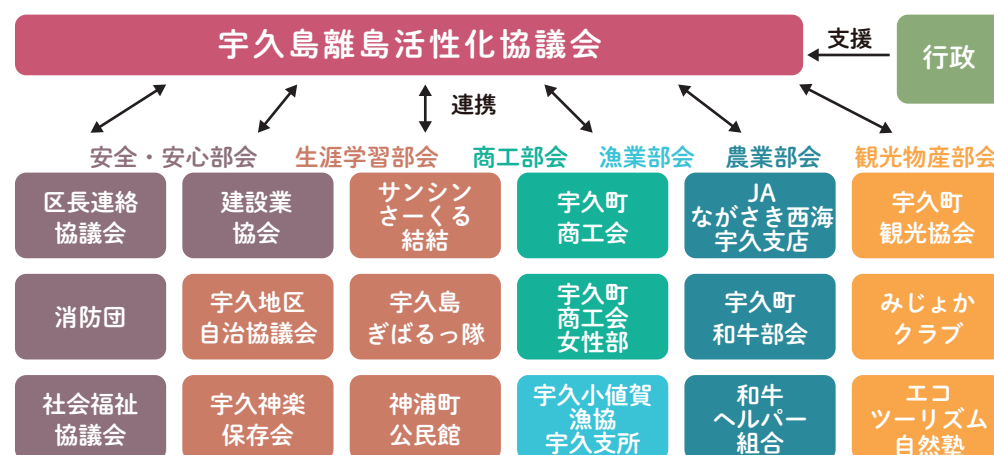
「こんなことをやってみたい」「活動を知ってほしい」「誰かと一緒に取り組みたい」。そんな思いを持つ皆さんをつなぎ、誰もが参加しやすいまちづくりの場を目指して活動していきます。



皆で議論した宇久島楽園ミーティング



海岸清掃ボランティアリズムの開催



みんなで作る宇久島のまちづくり（2026.7現在）



未来へ受け継ぐ、宇久島神社大祭行列 - 全長 28m の壁画が完成しました -

▶ 御神忌 1125 年記念。伝統の大祭行列を壁画に。

令和9（2027）年、宇久島神社では祭神・菅原道真公の御神忌1125年を迎えます。その記念事業の一つとして、宇久島神社大祭行列を描いた壁画が制作されました。壁画は長崎市のイラストレーター・まつもとりょうた氏が手掛け、高さ約1.8メートル、幅約28メートルの壁面に、紋付・袴姿の行列が色鮮やかに描かれています。

宇久島神社の月川徹宮司は、「少子高齢化が進み、伝統行事の継承が難しくなっている今だからこそ、昔の姿を壁画として残し、長い歴史と伝統を受け継いでほしい」と話されています。宇久島の歴史と文化を未来へ伝える、新たなシンボルとして、多くの皆さんにご覧いただきたい作品です。





シリーズ 「人がつなぐ宇久島」 No.1

— 神浦町公民館 宮脇 薫 館長 —

▶ **まずは、みんなが集まるきっかけを。「神浦町公民館マルシェ」の開催。**

「考えるだけではなく、一步踏み出すことが大切なんです。」

そう話すのは、神浦町公民館館長の宮脇さんです。

5 月に開催された「神浦町公民館マルシェ」は、地域の皆さんが気軽に集まり、交流できる場として開催されました。当日は飲食や物販、子ども向けの企画などが並び、子どもから高齢者まで約300人が来場。会場には笑顔があふれ、地域のつながりを感じられる一日となりました。

開催のきっかけは、公民館の改修工事が終わったことでした。「せっかく新しくなった公民館を、地域にもっと活用してもらいたい。このままでは負の遺産になってしまうかもしれない」そんな思いを抱いていた頃、島外から赴任してきた先生から「マルシェをやってみませんか」という提案がありました。

「集客できるだろうか、出店者に喜んでもらえるだろうかと不安もありました。でも、まずはやってみようと思ったんです。」

結果は予想を超える約300人の来場。多くの人が顔を合わせ、地域に新たな交流が生まれました。今年は第2回も開催され、「これからも続けていけたら」と話します。

宮脇さんが大切にしている言葉は、「行動ではなく『考動』」。考えるだけで終わるのではなく、一步踏み出すことで地域は少しずつ変わっていくと考えています。また、「話ば集会（はなしばしゅうかい）」のように、若い世代が気軽に意見を出し合える場づくりにも取り組み、

「ルールは一つ。相手の意見を否定しないこと。仲間づくりが地域づくりにつながる。」

と笑顔で話してくれました。



宮脇さんに聞きました！

Q1. 神浦町公民館をどんな場所にしたい？

A1. 世代を問わず、誰でも気軽に集まれる場所になればうれしいですね。

Q2. 地域づくりで大切にしていることは？

A2. 仲間づくりです。一人ではできなくても、みんなで力を合わせれば形になります。



商工会女性部に聞きました！

Q1. 宇久島の好きなところは？

A1. 自然が豊かで、食べ物がおいしいところです。

Q2. 活動していて一番うれしかったことは？

A2. 商工会女性部の活動に対して、地域の方々からの声掛けが励みになりました。



シリーズ 「人がつなぐ宇久島」 No.2

— 宇久町商工会女性部のみなさん —

▶ **視察で得た学びを行動へ。地域を元気にする一步が始まりました。**

「私たちにも何かできることがあるはず。」

そんな思いから活動を始めたのが、宇久町商工会女性部の皆さんです。

活動のきっかけは、昨年11月に参加した奈留島での視察研修でした。地域住民が主体となって島を盛り上げる様々な取組を目の当たりにし、「私たちにも何かできることはないだろうか」と考えるようになりました。帰りのフェリーの中では早速アイデアを出し合い、宇久島へ戻ると、フェリーターミナル前のイルミネーションの飾り付けや周辺の草刈りを実施しました。

イルミネーションは、地域の皆さんはもちろん、島外から訪れた方にも喜ばれ、「きれいだったよ」「ありがとう」といった温かい声が励みになったそうです。

毎年「長崎ひまわりプロジェクト」に参加し、今年は宇久小学校の子どもたちと一緒に花壇へひまわりを植えました。地域や子どもたちとの交流を楽しみながら、少しずつ活動の輪を広げています。

現在、女性部には17名が所属していますが、実際に活動できるのは半数ほど。それでも、

「無理をせず、自分たちにできることを、楽しみながら続けていきたい。」

と話してくださいました。小さな活動の積み重ねが、宇久島の元気につながっています。

募集！

関西宇久の会がスタートします！

関西在住の宇久出身者をご紹介ください！

宇久島を離れて関西で暮らしている方々とのつながりを深めるため、このたび「関西宇久の会」の発足を予定しています。「久しぶりに宇久島の話がしたい」「ふるさととのつながりを持ち続けたい」そんな方々が気軽に交流できる場を目指しています。ご家族やご親族、ご友人など、宇久島出身で関西にお住まいの方をご存じでしたら、ぜひご紹介ください。一人でも多くの方に参加していただき、宇久島とのご縁をこれからも大切につないでいきたいと考えています。関西にお住まいの宇久出身の方をご存じでしたら、ぜひお気軽にご連絡ください。

■ 関西宇久の会

発足会の予定：11月（大阪）

—— 発起人 ——

事務局

柄本 沢好（旦ノ上）
鬼塚 廣武（木場）
松本 富美子（神ノ浦）
安達 ツギ子（本飯良）
宮崎 泰三（本飯良）

株式会社 M&P 宮崎 泰三
住所：〒558-0004
大阪市住吉区長居東4丁目12-9
シャトー長居2F
TEL 06-6655-6571 携帯 090-9875-6594
Mail miyazaki.m.and.p@outlook.jp

今後の予定

今後も月1回程度の連絡会議を開催し、各団体の活動状況の共有や情報交換を行っていく予定です。「こんなことを話したい！」「みんなに知ってほしい活動がある！」「こんな人とつながりたい！」など、会議で取り上げてほしいテーマやご提案がありましたら、ぜひお気軽に事務局までお寄せください。皆さまと一緒に、より充実した協議会をつくっていききたいと思います。